



**第28回西日本サッカーフェスティバル 審判割り当て(強化研修会関係分) 8/4修正版**

1日目		倉敷南高校							
月日	曜日	時間	対戦カード		主審	副審1	副審2	指導者	
8月4日	日	11:15	玉野	:	高知中村	川原 煌雅	相互	小早川 稀	門原 広憲
		12:30	倉敷南	:	瀬戸	生田 賢太郎	相互	西村 脩吾	辻村 俊司
		13:45	玉野	:	福山誠之館	小早川 稀	相互	川原 煌雅	門原 広憲
		15:00	瀬戸	:	高知中村	西村 脩吾	相互	生田 賢太郎	辻村 俊司
笠岡工業高校									
月日	曜日	時間	対戦カード		主審	副審1	副審2	指導者	
8月4日	日	11:15	総社	:	山陽学園	田口 新	相互	鎌田 純輝	古村 英治
		12:30	矢井玉笠合同	:	廿日市西広島中等	岡崎 啓太郎	相互	市村 響	武田 英明
		13:45	総社	:	未定	鎌田 純輝	相互	田口 新	古村 英治
		15:00	山陽学園	:	廿日市西広島中等	市村 響	相互	岡崎 啓太郎	武田 英明
岡山工業高校									
月日	曜日	時間	対戦カード		主審	副審1	副審2	指導者	
8月4日	日	11:15	西大寺	:	育英	廣末 存果	相互	中村 日優	福田 秀孝
		12:30	岡山工業	:	西大寺	岩瀧 紫生	相互	相互	山本 亮平
		13:45	西大寺	:	林野	中村 日優	相互	廣末 存果	福田 秀孝
		15:00	岡山工業	:	育英	岩瀧 紫生	相互	相互	山本 亮平
2日目 福田公園サッカー場A(プール側人工芝)									
月日	曜日	時間	対戦カード		主審	副審1	副審2	指導者	
8月5日	月	9:30	倉敷古城池	:	岐阜第一	川原 煌雅	相互	相互	山本 亮平
		10:45	瀬戸	:	福山誠之館	生田 賢太郎	相互	市村 響	福田 秀孝
		12:00	倉敷古城池	:	福崎	岩瀧 紫生	相互	相互	山本 亮平
		13:15	瀬戸	:	岐阜第一	鎌田 純輝	相互	生田 賢太郎	福田 秀孝
福田公園サッカー場B(テニス側人工芝)									
月日	曜日	時間	対戦カード		主審	副審1	副審2	指導者	
8月5日	月	9:30	倉敷青陵	:	廿日市西広島中等	岩瀧 紫生	相互	西村 脩吾	武田 英明
		10:45	総社	:	境	鎌田 純輝	相互	相互	門原 広憲
		12:00	総社南	:	廿日市西広島中等	川原 煌雅	相互	相互	武田 英明
		13:15	倉敷青陵	:	境	市村 響	相互	相互	門原 広憲
福田公園サッカー場C(天然芝)									
月日	曜日	時間	対戦カード		主審	副審1	副審2	指導者	
8月5日	月	9:30	西大寺	:	高松第一	佐野 生昂	相互	小早川 稀	堀 格郎
		10:45	林野	:	西脇	岡崎 啓太郎	相互	中村 日優	辻村 俊司
		12:00	西大寺	:	高知中村	小早川 稀	相互	相互	堀 格郎
		13:15	林野	:	高松第一	中村 日優	相互	岡崎 啓太郎	辻村 俊司





終わりに

8月4日（日）・5日（月）の2日間、中国地域 U-18 審判員強化研修会を岡山県内の高校、倉敷市の福田公園サッカー場（人工芝2面・天然芝1面）で実施しました。審判員9名、指導者6名、江角 RDO、堀育成部会長の総勢17名で昨年に引き続き西日本サッカーフェスティバルの大会24試合を主審と副審の審判実技研修をおこないました。

強化研修会をおこなうにあたって、7月29日に事前 WEB 研修会をおこない、今回の研修会のターゲットである「どこで見たい？（いつ・どこに動く）」を映像と照らして確認しました。初日は、3会場に分かれ主審・副審の実技研修をおこない、試合後は指導者と振り返りで良かった点や課題等のフィードバックがなされました。当日雷が発生し、予定された試合の一部が中止になる事態もありましたが、審判員はそれぞれ今回のテーマを意識し、一生懸命取り組んでいました。

夜の研修会では主審の動きとポジショニングで良かった点や課題について、映像を見ながら審判員全員でディスカッションをおこないました。昼の研修会にも参加された岡山県学連 OB の審判員2名も一緒に参加され、高校生に貴重なアドバイスをもらいました。堀育成部会長からも今後の取り組みについて話をして頂きました。一人一人自分が考えたことを話し、審判員の色々な考えを聞くことで新たな気づきも多かったと思います。

5日（月）は福田公園サッカー場（人工芝2面・天然芝1面）にて非常に良い環境での研修となりました。初日の課題に対して色々考えながらレフリングをおこない、初日より良いパフォーマンスでレフリングをおこなえた審判員が多くいました。非常に暑い中ではありましたが、充実した研修会となりました。

今回の研修会を通して、自らどこで争点を見れば良いか、そのためにいつ、どこへ動けば良いかという動きとポジショニングの重要性を確認できたこと、同年代の審判員の頑張りに大いに刺激を受けたこと、WEB だけでなく実際会うことで交流が図れたことなどが大きな収穫でした。今年の全国高校総体サッカー男子の部では、全国からユース審判員10名が派遣されています（広島県からも1名派遣）。ユース審判員の強化育成がますます重要となっており、各県で今後の審判活動をさらに進めていくことを期待したいと思います。

最後に今回の研修会に審判員・指導者を派遣していただいた各県審判委員会、研修会の場を提供していただいた岡山県西日本高校サッカーフェスティバル実行委員会、会場の先生方のご理解とご協力にお礼申し上げます。

ユース審判員部会長 辻村俊司

## 中国地域U-18審判員強化研修会の振り返り(審判員)

- 1 今回の研修で、印象に残ったこと・勉強になったことは何ですか。
- 2 今回の研修参加にあたり事前のトレーニングはどうでしたか？
- 3 自分のレフリングについて ①今回の研修テーマをどれくらい実践できましたか？ ②ストロングポイントと課題
- 4 今後の目標について(進路を含め)

岡山県 中村日優

1

研修の前にも思っていたが、予期・予測は、ものすごく大事なものだなと改めて感じました。ただ走れるだけでは、争点に対して、よい角度、よい距離で見ることが出来ないと思いました。

もう一つ勉強になったのは、初速の大切さです。堀さんにも言われたんですが、背が高い分、初速の部分が遅くなって見えてしまうと聞いて、たしかにそうだなと感じました。一つ一つのキレなどがその試合の選手や関係者にもよい印象を与えられると思いました。一番思ったのは、「負けてもナイスゲーム」と言われる試合作り、選手中心のゲームを作るように心がけたい。

2

②おこなったが十分とはいえなかった。8月4.5日と研修がある中で、2日は、OFF、3日は、オープンキャンパスとあって、運動ということがおこなえませんでした。次からは、前日は、1時間程度のTRをしたいです。そして、暑さに耐えられるようにしていきたいです。

3

①今回のテーマである「どこで見るか」に対して、一日目では、ここで見たいという場所に動けないことがあったけれど、二日目では見たいところに積極的に動いてみることができました。走行距離は、60分で6kmで判定では、自信を持ってジャッジすることが出来ました。争点を見るには、距離10~15m、角度(串刺しにならないところ)を心がけるべきだと学びました。僕の中では、二日間合計で70%は実践できました。

②ストロングポイントは、・ファール判定が的確なこと。・笛の音、タイミングが良いこと。・よく走れるということ。・シグナルが綺麗な点。課題は、・予期予測。・初速。・ゴールキックなどの際に、目をボールから逸らしていたこと。

4

二級を少しでも早く取得し、審判員として活動し、いつかは一級審判員となり、Jリーグという舞台で活躍したいと思っています。進路では、大学に進んでの審判活動を続けたいと考えています。

岡山県 鎌田純輝

1

自分では幅を取っているつもりでも外から見ると幅が取れていなくてももう少し幅を取っていいと言われてより争点が見やすかったと感じた

2

②おこなったが十分とはいえなかった。練習試合で数試合主審、副審を行った。

3

①自分はあまり出来ていないと感じた。ポジションなどが全然だし今よりも良い位置で争点を見る事が出来ると思うから自分はあまり実践できないと感じた。

②自分のジャッチを自信をもってレフェリングできるところがストロングポイントだと感じた。試合の中盤などになるとkickoffの時よりも走る距離が減っていて、選手の進行方向の邪魔になったり、パスコースの邪魔になったりしていたからそれが課題だと感じた

4

今後は、県リーグ等で主審の経験を積んでいきたいです。目標は、なるべく早く2級を取得する 進路は JAPAN サッカーカレッジ、履正社医療スポーツ専門学校の審判での進学で迷ってます

広島県 岡崎啓太郎

1

中国地方の各県で活動するユース審判員・指導者の方々とコミュニケーションをとることができて、とても楽しかったです。また、岡山県学連の田口さん、廣末さん、佐野さんも今回の研修に参加していただき、学連やアカデミーなどについてのとても貴重なお話を聞くことができました。2級審判員として活動されている御三方のレフェリングを間近で見ることとても勉強になりました。

2

① 十分おこなった。審判活動や体力作りのトレーニングを行い準備しました。

3

①概ね行うことができたと思います。

今回のテーマは『どこで見たい？(いつ動く・どこに動く)』でした。幅広く動きながら常に争点に近づくことを意識し、ポジショニングをとりました。しかし、クロスが上がる際にクロッサーの方に寄っていて、中の争点に遅れることもあったので改善していきたいと思います。

②ストロングポイントは、プレーより先に動き出すスプリント。課題は、ボールが大きく動かない時間に立ち止まってしまうこと。負傷した選手への対応。

4

今後の目標は2級に昇級することです。また、高校卒業後は大学に進学し審判活動を続けていきたいと思っています。

山口県 市村 響

1

印象に残ったことは、同じ高校生の審判員が色々なことを考えて審判していると話し合いやミーティングで分かったことです。勉強になったことは、ハーフタイムや試合後のミーティングで自分の課題をインストラクターの方々に見つけてもらい、改善方法を教えて頂いたことです。

2

①十分おこなった。ストレッチなどを入念に行って最後まで走り切れたからです。

3

①位置や角度を意識して試合に入りましたが、動画で確認したところまだ距離が遠いときがあったり、串刺しになっているときがありました。

②ストロングポイントはロングボールの対応です。課題は走り出しのタイミング、角度をやることです。

4

多くの審判活動を経験してまずは二級審判員になりたいです。

山口県 西村脩吾

1

・試合の前から試合をきちんと行うために準備する必要があるということ。・自分が判断した判定に正しい説明ができるようになること。・知識がまだまだたりていないことに気づいた。・細かいところまで気を配ること。

2

①十分おこなった。チームの試合や練習があり最低でも1日2時間以上長くて4時間はサッカーの練習を行っていた。

3

①雷や熱中症の影響で主審をする機会が少なかったですが角度と位置を意識しながら取り組むことができました。レフェリースイドにボールが出たときにはスプリントをして距離を縮め、中の状況を確認しながら判定をすることができました。

②ストロングポイントは、試合での落ち着き。選手とのコミュニケーション。課題は、ファウルの判定、見る角度、体力、スプリント力。

4

たくさんの公式戦に出て経験を積み、1級審判取得を目標にする。

鳥取県 岩瀧紫生

1

今回の研修で学んだことは、自分のポジショニング移動が思っていたよりもだいぶ遅いということです。予測や体の向きを作るなど自分の考えにはなかったことを多く学びました。またインストラクターの先生方にしっかりと選手とコミュニケーションを取れるのは強みだと言われたので今後も活かしていきたい。

2

①十分行った。動き出しを何回も行う、体の向きを変えながらステップをするなど

3

①今回の研修のテーマであるどこで見る？で意識したことはいつもより走って角度をつけてたくさんの方向から見ると言うことです。初日にはたくさんの指導をしてもらい2日目には納得のいくポジションで見ることが出来たのでよかったと思います。

②ストロングポイントは、・体格・笛の音色・しっかりと喋れること・早い展開にもついていけるスプリント能力

4

今後は三級、二級資格を取得して、アカデミーに入れるようになりたいです。

鳥取県 生田賢太郎

1

暑い中での研修となり、プレーヤー以上に体力と集中力が必要だと実感した。

ポジショニングに気をつけて全体を見渡しながらレフリングをするということに気をつけて行ったがとても難しいと感じた。また、近隣に同じ活動をしている仲間が居ることがわかり2日間本当に楽しく過ごすことができた。今後活動する中で今回の仲間とはつながりがあると思うのでこの出会いを大切にお互いに様々な場面で切磋琢磨していきたい。

2

②おこなったが十分とはいえなかった。毎日ランニングを行い暑さに負けない体作りをしていたつもりだったが不十分だった。研修前に県の研修で何日間か主審を行い、技術の確認はしていたがそちらもまだまだ研修が足りないと思う。

3

①ポジショニングは意識してやったつもりだったが、暑い中なので後半から疲れてきて段々と争点が離れてしまったことが反省点である。

②スプリントの速さがストロングポイントだと思っているので1試合を走りきる体力をつけなければならないと思う。

4

進路については、鳥取県サッカー協会に貢献できるよう近隣の大学進学を目指している。また、サッカー一部員が少ないため競技を続けられず審判員に転身したことをテーマにして総合型選抜試験で合格したいと思っている。そのため、今回の研修のように県外での研修の機会があれば積極的に参加をし、技術向上だけでなく他県の審判員と情報交換をしながら審判員の普及にも努めていきたい。

審判としての目標は、早く3級にふさわしい審判員となり、県内大会だけでなくブロック大会や全国大会など大きな大会でのレフリングをしたいと思っている。活動の領域を増やして、多くの審判員の方から学んでいきたい。

島根県 小早川 稀

1

今回の研修で自分が一番勉強になったことは、近い年代のもの同士で一つの試合を作りあげるといふことの楽しさであったり、他県のINSの方々との交流、そして評価をしていただくことにより他県のユース審判員との差を少しでも縮めるためのよい情報を多く得ることができたという点です。個人的に特に印象に残ったことは1日目よりに行った研修会です。Web研修会とは違いその日にあったことを使って全体でリアルタイムで話し合い、共有することができたことはこれからの自分のレベルアップ以外にも、ユース審判員全体としてのレベルアップにつながると思いました。

2

② おこなったが十分とはいえなかった。直近1ヶ月で主審(60分ゲーム)を4試合、副審を3試合行った。(トレーニングマッチ、フェスティバル等で)

3

①研修に参加する前と比べて争点に対する角度と距離を修正することはできるようになったと思います。でも、他県のINSの方々が言われるようにペナルティーエリアという一番多くの接触・事象が起きる場所ではもう1.2mでも寄りたいたいと思いました。

②ストラングポイントは、・(今回なら)60分間走り切れるフィジカル面。課題は、・レフェリーサイドとアシスタントサイド別の体の向きと視野の確保の仕方・ロングボールなどが入る前から次の争点となりうる場所の状況を認知しておく・自分が「これは？」と思ったものはふく→その後、振り返り評価を受ける・選手とのコミュニケーションの仕方

4

今後の目標は県リーグでの主審を担当させてもらえるくらいの知識量と技術を身につけるということと、12月末にある全日本少年サッカー選手権大会に呼んでもらうことです。

島根県 川原 煌雅

1

そもそも審判をしていく上で何故走ることを考えるきっかけを与えてもらったこと。争点見るうえで次のところを見れる体の向き。→右足、左足を一歩前に出すなどの工夫

2

③十分行なえなかった。30分間走ることにしかできていなかった

3 自分のレプリングについて

①満足にできたとは言えなかった。ただやろうとしていく中でできていないことをどうしたら良いのか考えてたり、教えてもらったりして次の試合に繋げることができたこと

②課題は、走るときの腕の振り方。ボールが次どのように動くのか常に考えながら動くこと。手を上げているときに真上に上げることを意識すること。

4

自分の弱いところとしっかり向き合うこと。進路は今のところ就職で考えています